

2019年1月30日

京都府知事 西脇隆俊 様

日本共産党京都府会議員団

団長 前窪義由紀

自衛隊饗庭野演習場での米海兵隊との実動訓練（フォレスト ライト 02）の中止を求める

近畿中部防衛局によると、滋賀県の饗庭野演習場で2月4～15日に日米共同実動訓練（フォレストライト 02）を実施し、また4日と5日には米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）所属の輸送機オスプレイが最大で4機程度参加する予定であることが示された。

饗庭野演習場では昨年11月、81ミリ迫撃砲が国道付近に誤射され、民間の車が破損する被害が出たばかりであるにもかかわらず、今月11日に自衛隊は中止していた実弾訓練を21日から再開すると明らかにした。

また今回、訓練の一環で、初めてオスプレイが三重県の陸上自衛隊明野駐屯地に飛来し、饗庭野演習場まで福知山駐屯地の隊員らを輸送するとしている。

饗庭野演習場は、2013年に日米合同演習で沖縄県の普天間飛行場に配備されたオスプレイが国内で初めて参加した訓練が行われた演習場である。また、京都府には米軍基地が配備され、自衛隊福知山射撃場を日米共同利用施設として米軍による実弾訓練を実施している。さらに今回の計画をはじめ、京都府が日米による軍事一体化が推し進められる最前線の地となろうとしていることは、極めて重大である。

よって京都府として、饗庭野演習場での日米共同訓練の実施の中止、オスプレイの府域の飛行をしないことを日米両政府に強く申し入れることを求める。

以上